

(編集後記)

先日の北海道新聞に「エベレストの麓にあるネパールの自治体が今春から登山者に排せつ物を持ち帰るための袋を携行するよう義務付けると決めた」との記事がありました。ベースキャンプでの滞在が長い登山者にとっても重い課題を突きつけられたと感じました。生分解性フィルムの袋に排便をし、凝固剤ではなくオカズを振りかけるもので、温かい土壌であれば埋めても自然分解するらしいです。

森林管理署と道森林室がR6年度登山口別携帯トイレ持参率(88ページ参照)を作成しました。美瑛富士登山口、トムラウシ短縮路、ニペソツ山、沼ノ原などは90%前後。日帰り登山者も含めてのデータなので宿泊登山者はもっと高率だと推測されます。携帯トイレが登山者に認知されてきた証左です。

国内で35番目に指定された日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生しました。今回のフォーラムも昨年に続き日高山脈の登山道や避難小屋、トイレの維持管理、安全管理等について意見交換します。今まで大雪山国立公園で得た知見を、少しでも日高山脈にも生かされるよう活動したいと思っています。

今回も多くの人に支えられ、フォーラム資料集を作成することができました。寄稿していただいた皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

今日は久し振りに朝から青空。真っ白い雪景色に映え、心も春に向かっていきます。

(令和7年2月吉日 仲俣善雄)

第1回～26回までの山のトイレフォーラム資料集は全て当会のホームページに掲載されています。

第26回 山のトイレを考えるフォーラム 資料集

発行：山のトイレを考える会

発行日：令和7年3月15日

(事務局)

〒004-0061

札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18

電子メール hokkaido@yamatoilet.jp

ホームページアドレス <http://www.yamatoilet.jp>

本資料集は(一社)コンサベーション・アライアンス・ジャパン(CAJ)の「アウトドア環境保護基金」の助成金で作成しました